

博報堂DYグループのサステナビリティアクション

E

行動変容

Planetary Platformers Initiative(博報堂)

持続可能な地球環境の実現に向けて日本発の ゲームチェンジを推進する一般社団法人を設立

世界中で気候変動や自然環境の変化が進む中、地球規模での持続可能な社会づくりに向けた技術への関心が高まっています。日本国内でも革新的な技術が数多く生み出されており、これらをどのように社会と結び付け、実装していくかが重要です。

社会課題解決型ビジネスに取り組んできた博報堂ミライデザイン事業ユニットは、人類学・地球学の視点から「人新世の文明論」を構想する文化人類学者の竹村眞一氏とともに、一般社団法人Planetary Platformers Initiative（プラネタリー・プラットフォームーズ・イニシアチブ）を設立しました。当団体では、地球と人類の共生・地球の“OS”のアップデートに挑戦します。社会を変えるような先進技術を持つスタートアップ同士の掛け合わせや、大企業・行政・ファンド・アカデミアをつなぐネットワーク構築等により、より大きなインパクトを生み出すソリューションを開発し、社会実装を推進していきます。共創ビジネスにおいては、国内外での実証実験フィールドの提供や、海外進出支援等も行う予定です。



E

気候変動

地球中心デザイン研究所(TBWA\HAKUHODO)

サステナビリティとクリエイティビティの両立を目指す新会社を設立

地球中心デザイン研究所は、「サステナビリティ×クリエイティビティ」を軸に活動するクリエイティブエージェンシーです。人間中心の価値観から一歩進み、環境や他の生物、多様な生命の視点を取り入れながら、地球全体をステークホルダーと捉える「地球中心デザイン」の思考に基づき、社会やビジネスの再設計を目指して2024年10月に設立されました。具体的には、企業ブランディング、CI/UI/UXデザイン、映像・空間デザイン、新規事業開発、地方創生など幅広いプロジェクトに取り組み、持続可能な未来の実現を支援しています。

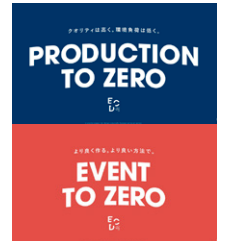
東京都が進める脱炭素プロジェクト「HTT」（電力を〈H：へらす〉〈T：つくる〉〈T：ためる〉）では、生活者に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション戦略を博報堂とともに立案しました。さらに、大和ライフネクスト（株）が福島県双葉町で開業するホテル「FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA」では、震災と原発事故を経験した地における再生と希望の象徴となる場づくりを目指し、施設のコンセプト設計やネーミング、空間デザインを包括的に手掛けています。そのほか、撮影やイベントにおけるCO₂排出量を低減する「PRODUCTION TO ZERO」「EVENT TO ZERO」といったサービスや、サーキュラーエコノミーやネイチャーポジティブをテーマにしたワークショップも展開。複雑化する社会課題に対して、クリエイティビティの力で新たな価値や仕組みを生み出すことを目指します。



東京都の脱炭素プロジェクト「HTT」



大和ライフネクスト株式会社
「FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA」



撮影やイベント時のCO₂排出量を低減するサービス

博報堂DYグループのサステナビリティアクション

E

行動変容

長野県生坂村 リジェネラティブ・ツーリズム(大広)

ネイチャーポジティブ(自然再興)に新たな観光事業の産官学共創

大広ウェルビーイングデザインセンターは、生物多様性の保全と増進に取り組む観光事業「リジェネラティブ・ツーリズム」プログラムの共同開発と提供を実施しています。当プログラムは、自然環境やネイチャーポジティブ活動に関心を持つ人々を対象にしており、長野県生坂村でのネイチャーポジティブ活動を楽しみながら学ぶことができる独自プログラムです。

2024年には、全国から参加した約30名を「生坂村公式ネイチャー研究員(フェロー)」として育成しました。プログラムの講師には、人と自然の共生をテーマに調査・研究を行う立教大学・奇正彦准教授を迎え、ネイチャーポジティブの先にある新しい里山の姿を想像し、実現に向けて実際に手を加えながら地域の方々とともに「何度でも訪れたくなる里山づくり」に取り組みました。この取り組みは、大広・(同)HiTTiSYO・生坂村・(株)松本山雅・クラブツーリズム(株)・(株)フューチャーセッションズの5つの企業および自治体のコンソーシアムにより実施され、それぞれが持つ専門性とネットワークを活かし、多角的な視点から共創活動を行いました。

大広からは別途10名の社員が研修として参加し、ネイチャーポジティブや地方創生について実地で学び、住民と来訪者がお互いにウェルビーイングを育むための課題探索とプランニングに取り組みました。研修参加者は、修了後、社内での自発的なネイチャーポジティブ活動の企画を開始しています。



当プロジェクトの受賞実績

- 「第2回サステナブルな旅アワード」特別賞
- 「JATA SDGsアワード」優秀賞(環境部門)、特別賞(社会経済部門)をダブル受賞

E

気候変動

コスタリカ グアナカステ州のランドスケープ開発
(Gehl Architects Holding ApS)

自然と調和したサステナブルな地域づくり

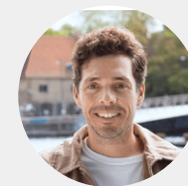
Gehl社では、海外からの移住者増加やコスト上昇により地元住民のための住宅不足が深刻化しているコスタリカのグアナカステ州において、340ヘクタールの土地を活用した地域の未来を形づくるインクルーシブな街づくりを主導しています。「人間中心の原則」と「生態系への配慮」の両立を開発の基本戦略とし、農業によって分断された景観を再生するため、2つの川を結ぶ自然の回廊を軸に、住宅地を低密度に配置し、自然環境との共存を図り、水の流れ、植生のサイクルや野生生物の生息地などの「自然のリズム」に寄り添った新しい生活空間をつくり上げます。計画にあたっては、地域社会との対話を最も重視し「パブリックスペース・パブリックライフ」の手法に基づき、住民や関係者との対話を重ねました。

また、自動車への過度な依存を減らし徒歩や自転車など環境負荷の少ない移動手段を優先して住民や地域への訪問者の憩いと交流の場を創出。活気あるコミュニティの醸成を目指しました。ラテンアメリカの伝統を基調に、地域の文化や暮らしを尊重し、若年層の夫婦から大家族まで、あらゆる人々を包括する自然と調和したサステナブルな地域づくりを進めています。

My Aspirations

人と自然が共生する持続可能な地域社会の創造

「所得で人々を隔てないコミュニティを創造したい」という強い意思が、プロジェクト成功のカギでした。地域全体が協力的であり、本プロジェクトが将来の規制やベストプラクティスとなる可能性も高く、非常に有意義な経験となっています。第1フェーズは既に建設が始まっており、今後数十年かけて、人と自然が共生する持続可能な地域社会を創造していきます。



Gehl Architects
Holding ApS
Senior Project Manager

Santiago
Buendia

博報堂DYグループのサステナビリティアクション

S

コミュニティ

CIVIC PRIDE® SCHOOL(読売広告社)

地域のより良い未来をつくる「シビックプライド人材」育成のためのプログラムを提供

「CIVIC PRIDE® SCHOOL」は、都市生活研究所における「CIVIC PRIDE®」の知見を活かした、事業者や教育機関向けの研修プログラムです。参加者の課題や目的に合わせ、「CIVIC PRIDE発想のイノベーション学習」「CIVIC PRIDE醸成につながるキャリア探求学習」や、「地域のデータからミライを読み解き、実効性のある施策をデザインする力の育成」などのオリジナルプログラムを開発・実施します。第一弾として広島県では高校生数十人が参加し、「私たちのひろしまを育てていく」ための未来に向けたアクション」をテーマに活発な意見交換を実施。昨今、地域が抱える課題は複雑化・深刻化し、持続可能な街づくりには、自ら課題を発見し未来を共創する「自律的人材」の育成がカギです。本サービスは、地域課題に直面する自治体、企業、学校と連携し、地域の未来を共創する人材を育て、課題解決を支援しています。



My Aspirations

「Myシビックプライド」に気付く体験を提供

広島の人たちの「広島愛」の強さは、東京郊外出身の私には非常に眩しいものです。しかし、その愛に気付かず上京する若者や、雇用などの地域課題への対応をためらう大人たちがいます。「CIVIC PRIDE® SCHOOL」では自分自身の地元愛に気付いてもらうことから始めます。気付くからこそ地元の未来をより良くしようと試行錯誤します。そしてもっと愛が高まり「シビックプライド人材」が育っていきます。それぞれの愛があふれる多様な地域づくり体験を、より多くの地元を愛する子どもたちに提供していきたいです。



読売広告社
都市生活研究所
シニアプランナー*

日浦 康雄

* 2024年時点

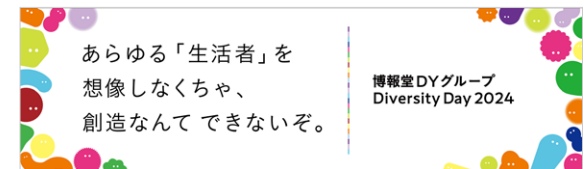
S

DE&I

博報堂DYグループ Diversity Day 2024

一人ひとりのACTIONを創出する、グループ横断のDE&Iイベント

2024年に「博報堂DYグループ Diversity Day」を開催しました。“あらゆる「生活者」を想像しなくちゃ、創造なんてできないぞ。”をスローガンに、「多様性のある社会」「自分らしい性のありかた」「インクルーシブな社会」をテーマとしたトークセッションを実施。セッションでは外部の有識者をお招きし、当社グループの社員とともに、働き方を支える取り組みなどを共有しました。このイベントは、DE&I推進の賛同者や当事者をつなぎ、グループ間の対話を活性化させることで、DE&Iをさらに加速させることを目的としたものです。参加者からは「グループの方向性が見え、多くの気付きがあった」「当事者の想いを理解する機会になった」といった声が寄せられました。



博報堂DYグループのサステナビリティアクション

S

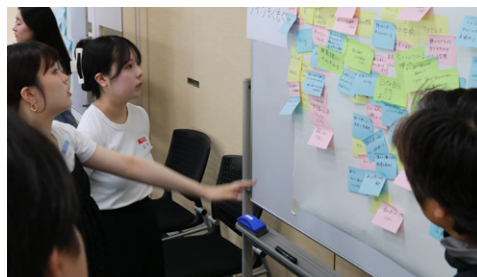
コミュニティ

中高生向けの探究学習プログラム「Hasso Camp」

「生活者発想」と「クリエイティビティ」の体験を通じて、
未知なる答えを導き出す「発想力」を育む場を次世代に提供

当社グループは、社会課題の探究・解決に取り組み、発想力を育む中高生向けの探究学習プログラムを2024年度から提供しています。当プログラムは、学校単位で実施する通年開催の「Hasso Camp」と、高校生が個人で参加する夏季開催の「Hasso Camp Project ミライ」の2つを設けています。当社グループが強みとする「生活者発想」や「クリエイティビティ」を中高生に体感してもらい、豊かな発想力を育みながらそれぞれの個性や可能性に気付くきっかけをつくっています。プログラムの企画・運営やワークショップ実施のサポートは様々な専門領域を持つ当社グループの社員が担当しています。

2024年度の「Hasso Camp」では、博報堂生活者発想技術研究所と「メタバース」、博報堂キャリアジョ研プラスとは「アンコンシャスバイアス」といった次世代が直面する新しいテーマについてのワークショッププログラムを開発。「Hasso Camp Project ミライ」では、「新しい“Ibasho”を創りだせ!」をテーマにNPO法人と協働し、地域の居場所となっている都内のこども食堂を訪れるフィールドワークを組み込みながら、新しい居場所についてのアイデア発想を行いました。



当プロジェクトの受賞実績

- 経済産業省「第14回キャリア教育アワード」優秀賞（大企業の部）

S

コミュニティ

地域に根付く人材育成プログラム開発（ソウルダウト）

生成AI×マーケティングで、地域の未来を担うデジタル人材を育成

ソウルダウトは2021年より「地域活性化起業人制度」「企業チャレンジ制度」を締結している島根県雲南市と、生成AIとデジタルマーケティングスキルを兼ね備えた人材育成と就業支援プログラム事業を共同企画・開発。誰もが最先端のデジタル領域のスキル習得・就業にチャレンジできる環境づくりに取り組んでいます。生成AIとメディア運営の領域で事業展開しているソウルダウトのグループ会社であるメディアエンジン（株）と連携することで、質の高い教育カリキュラムを設計。最前線の現場で活躍する社員が講師としてサポートを行い、実務経験と実績を積める環境も整えました。また、事業の持続可能性・発展性を高めるため、内閣府の制度「企業版ふるさと納税制度」を活用し、自治体の事業運営資金を民間企業から調達できるスキームを構築しました。

2024年度のプログラムには、募集15名に対して28名の応募があり、地域の若者、子育て層から移住希望者まで、幅広い方にご参加いただきました。



My Aspirations

民間と行政の共創を促し、地域の人の可能性を最大限活かせる環境をつくる

島根県雲南市は私が生まれ育った故郷で、大学生の時から地域づくりの活動を行っています。そんな大好きな雲南市に貢献するために、ソウルダウトとしては初となる地域活性化起業人制度を活用。地域で大きな課題である、子育て層を含めた若者が自分らしく働ける環境をつくるために、雲南市とコラボし新たな事業を構築するところから推進させていただきました。



ソウルダウト
松江営業所 所長
梅澤 宏徳